

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

科目名	ナンバリング	区分 (必修・選択)	単位数	履修年次	開講学期等
心理療法Ⅱ		選択	2	2.3	後期
担当教員	研究室	電子メール ID	オフィスアワー		
瀧口 綾	B305	atakiguchi	火曜日 12:10~13:00		
授業の目的・概要	<p><目的>心理療法を行うために必要とされる様々な理論や技法の実際について学び、臨床において必要とされる技術を理解し体験することを目的とする。</p> <p><概要>代表的な心理療法について講義する。Teams 上でワーク等を通して技法を学び、振り返りや意見交換などを行い理解を深める。</p>				
学 習 上 の 助 言	講義中に生じた疑問はそのままにせず、積極的に質問し学びを深めて欲しい。				
教 科 書	教科書は指定しない。必要に応じてプリントを配布する。				
参 考 書	基礎から学ぶ心理療法/編・矢澤美香子/ナカニシヤ出版 (「心理療法」で使用図書)				
学生が達成すべき行動目標				関連卒業認定・学位授与方針	
①	心理療法についての理論や技法について述べることができる。			HSU(1)、(2)、WP(5)	
②	心理療法の基本的姿勢について学ぶことができる。			WP(1)、(5)	
③	心理療法の基本的な技術を身につける。			WP(5)、(6)	
④					
⑤					
⑥					
授 業 計 画					
回	学習内容等	授業の方法	学習課題・学習時間 (時間)		
1	オリエンテーションを行う。 心理療法の概論について学ぶ。	同時双方向型授業	授業内容の復習を行う。	2	
2	面接技術と心理療法の効果について学ぶ。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
3	クライアント中心療法の理論と技法について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
4	クライアント中心療法の理論と技法について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
5	精神分析の理論と技法について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
6	精神分析の理論と技法について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
7	行動療法・認知行動療法の理論と技法について学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
8	行動療法・認知行動療法の理論と技法について学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
9	日本発祥の心理療法 (森田療法・内観療法・臨床動作法) の理論と技法を学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
10	日本発祥の心理療法 (森田療法・内観療法・臨床動作法) の理論と技法を学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
11	ブリーフセラピーの理論と技法を学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
12	ブリーフセラピーの理論と技法を学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4	
13	遊戯療法・表現療法の理論と技法を学ぶ①。	同時双方向型授業	前回授業のコメントを踏まえ復習する。	4	

【2021 年度/専門科目領域/専門科目群/福祉心理学科】

14	遊戯療法・表現療法の理論と技法を学ぶ②。	同時双方向型授業	前回授業のリアクションペーパーに関するコメントを踏まえ復習する。	4					
15	統括を行う。	同時双方向型授業	これまでの授業内容を復習し、各自整理する。	6					
試	レポート試験 達成度評価・評価のポイントを参照								
達成度評価									
総合評価割合 (%)		試験	レポート	成果発表	ポートフォリオ	その他	合計		
		0	70	0	0	30	100		
総合 力 指 標	知識・技術力	0	20	0	0	5	25		
	思考・推論・創造する力	0	20	0	0	10	30		
	協調性・リーダーシップ	0	0	0	0	5	5		
	発表・表現伝達する力	0	0	0	0	0	0		
	コミュニケーション力	0	0	0	0	0	0		
	取組みの姿勢・意欲	0	20	0	0	10	30		
	問題を発見・解決する力	0	10	0	0	0	10		
評価のポイント					フィードバックの方法				
評価方法	行動目標	評価の実施方法と注意点							
試験	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
レポート	①	✓	レポートのテーマは授業中に発表する。評価は、内容（聞かれたことに答えているか、自分の意見を述べているか）、文章の構成、誤字・脱字等で行う。	提出されたレポートは全体の総評を行い各自コメントを付して返却する。					
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
成果発表	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
ポートフォリオ	①								
	②								
	③								
	④								
	⑤								
	⑥								
その他	①	✓	毎回授業の終わりにリアクションレポートの提出を求める。理解したこと、疑問に感じたこと及び自分の考えなどについて記述してもらおう。授業内でのワークの取り組みについて評価する。	次回の講義の初めに、前回のリアクションレポートについてのコメントし解説する。ワークについては、実施後コメントを行う。					
	②	✓							
	③	✓							
	④								
	⑤								
	⑥								
備 考									
<p>*Teams を使った同時双方向型授業を行います。課題ダウンロードを行いますので、授業時は通信容量が無制限の Wi-Fi 環境を推奨します。</p> <p>*今後の新型コロナウイルス感染症の状況など社会情勢によって再度シラバスの変更もあります。</p> <p>教員の実務経験： 臨床心理士として 20 年の心理相談業務の経験を有する。</p> <p>実践的授業の内容： 臨床心理士としてのこれまでの専門性と経験を講義に生かしながら学習を進める。</p>									